

# ナイスケアだより

第97号

令和2年6月発行

新型コロナウイルス感染症に関する特別給付金に関連した相談が、ご利用者やご家族からあります。特別給付金の申請書は郵便で発送され、各ご家庭に届き、すでに記入し返送された方も多いのではないのでしょうか。

そんな中、給付金を装った詐欺が増えているそうです。行政や公的機関、金融機関の職員を装い、手続きの代行と称し、個人情報の暗証番号を聞き出す行為があります。

手口の例として、女性の声の自動音声でガイダンスが流れ、「新型コロナウイルスの流行で給付金があります。案内に従ってください」のような内容の電話が一方的にあるケース、区役所福祉課を名乗る人から「コロナ対策の書類を送ったが届いているか」等のような内容の電話があるケース等があります。

それ以外でもトイレ修理を装い高額の請求をされるケースも増えているようです。慌てて修理業者を呼んでしまいがちですが、複数社から見積もりを取ったり料金の確認が必要です。

世の中が不景気で先行きが不透明な時にこういった詐欺行為が増えるようです。少しでもおかしいと感じたら、新宿区立新宿消費生活センター（電話03-5273-3834）にご相談ください。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

## ～オンライン～

コロナウイルスの影響で、自宅で過ごす時間が多くなっているのではないのでしょうか。僕自身も外出の際はマスクの着用、帰宅後の手洗いうがいなども習慣になってきました。

外出を控えるようになりましたが、やはり自宅内だけの生活では物足りなさを感じます。そんな中、最近話題になっているのがオンラインを利用した会議や人との交流です。僕たちヘルパーはオンラインを利用するの事は難しいところがありますが、ケアマネジャーはオンラインを利用した会議を行っているようです。皆様の中にも経験された方もいらっしゃるのではないのでしょうか？



僕も実家の両親とオンライン通話を行ってみました。今は県をまたいだ移動も控えるように言われているため、パソコン越しの帰郷を行いました。パソコンを通してとはいえ、元気な両親に会えるのは嬉しい気持ちになりました。

緊急事態宣言が解除され徐々に人の動きが活発になって来ましたが、しかし、油断することなく感染予防を継続していきたいと思っております。

五十峯 大貴